

「まずは体力向上、睡眠！ そして気持ちの良いあいさつ」

副校長 菊本 純

いよいよ本格的に梅雨の季節になり、じとじと、ぬめっと、汗の張り付く感じが強くなってきました。体調を崩してお休みする生徒もちらほらでています。早めにしっかりと休息することが大切です。体調がいつもと違うなと感じたら、早めに伝えるようにしましょう。自分からはっきり伝えることが大切です。

さて、1年生は5月の職場見学会で「ぽこ あ ぽこ」にいきました。2年生の皆さんも昨年見学に行ったと思います。実は私も先日「ぽこ あ ぽこ」で1日だけですが実習をしてきました。その時感じたことをお話しします。

「ぽこ あ ぽこ」は、もとは福祉授産所からはじまり、現在は就労移行支援、就労継続支援B型や生活訓練の施設です。しかし内容的には、最も企業就労に向けた支援に力を入れている施設でもあります。利用者のアセスメントをしっかりと、合わせた手作りの治具もいろいろ用いて、作業の制度やスピードを上げる工夫をたくさんしています。それは工賃にも反映します。「働くとは」の基本の姿勢をととても大切にしているのだなと感じました。そして、二つ橋高等特別支援学校と通じる部分もたくさんあるなと感じました。

私の実習はというと、午前中は解体作業（ハードディスク）、午後はお菓子の箱の制作でした。県立養護学校の実習生も7名ほど来ており、一緒に行いました。「仕事はどうですか？」聞くと、「思っていたより大変だけど、頑張っています。」とか、「最初はきつかったけど、今はそれより良くなってきました。」など、前向きな姿勢がうかがえました。私の感想はというと、「ずっと立ち仕事は50歳過ぎの体にはつらい！」とか「ねむい！（特に昼食後）」でした。利用者さんたちの、教えられた内容をしっかり行っている様子は、二つ橋の職業教育の様子とも重なり、すごいなあ、と素直に思いました。

そして働くには、「まずは体力向上、睡眠！ そして気持ちの良いあいさつ」だとなつづく考えさせられました。体力は何を行うにももっとも基本になります。体力がついていかなければ、気力も意欲もなえてしまいます。一日を通してしっかり仕事をするには睡眠も大事です。眠くなってしまうと、作業の効率が落ちるだけでなく、けがをしてしまうことにもつながり、とても危険です。そして気持ちの良いあいさつや返事は、職場が明るくなり、活気がつきます。確認を取ることは失敗を減らし、結果、成功体験が増えることになります。良い関係が回っていき、前に向かって進んでいきます。二つ橋の教育の姿勢とも重なり、二つ橋のみんなが自信をもって進んで行ってよいのだなと感じた1日でした。とても貴重な体験をすることができました。

「君の未来は・・・誰にも分からない。何故だか分かるかい？ それは・・・君が作っていくからなんだ。どこへ行っても、どんな時も、君の未来は、君の手で作っていくんだ」
ウルトラマンダイナより

夏季休業中の学校は

8月10日（木）～8月16日（水）及び土、日を除いて 8:30～17:00 まで開いております。

ご相談や転出手続きなどありましたら、この時間帯にご来校ください。

また、万が一、事故や事件など不測の事態が生じた場合は、必ず、学校にお知らせください。

*** 閉庁日となる8/10～8/16の期間は、学校業務は行っておりませんので、ご承知ください。**

二つ橋スクールライフ



〇1年生

学校見学会で来校した中学校の先生や中学3年生、保護者の方々に校歌の合唱を披露しました。回を重ねるごとに歌声が一つになり、歌う姿勢やあいさつの態度も堂々としていました。1年前に見学に来た時のことを思い出した生徒もたくさんいたと思います。

さて、生徒たちにとって待ちに待った夏休みがやってきます。家庭で生活する時間が長くなります。この期間で、将来の自立に向け、生活に必要な力を向上させることを意識して過ごしてほしいと思います。お手伝いを通して、できる家事を増やし、公共の施設や交通機関の利用方法等を実際に体験しながら学んでほしいです。ぜひご家庭でも積極的に取り組むよう声をかけてください。健康・安全に留意し、有意義に夏休みを過ごしてほしいと思います。

〇2年生

6月から続いた2回目の現場実習も終盤に入りました。職員も連日、面接や巡回、反省会に出かけて実習先から就労するための課題について情報を得ています。今回得られた情報は今後の進路に向けて大変重要な役割をもちます。実習先は「利益を得るために」必要な人材を求めているのですから、学校よりもシビアな目で生徒達を評価してきます。その中でとても印象的だったのが、「学校は3年間ですが、会社は社員（生徒）と一生付き合っていくのですから、本当に当社での適性があるかを見ます。」「こちらからの指導に対し、どれだけ素直に働けるかということは業務適性以上に大切で、長く勤めるうえでそこが必ずベースになる。」という言葉でした。

これから就労先でも指導されることが続くのだと改めてわかりました。

〇3年生

前期現場では、卒業後に自分が働く姿をイメージしながら取り組んでいる様子が見られました。そのため、よくできたときの喜びも大きく、課題が見つかったときの受け止め方も深くなっているように感じました。週単位で毎日長時間仕事をさせていただき、「こういう仕事も自分には合っているのだな。」と、自分の新たな一面に気づいた生徒もいたようでした。

間もなく学生生活最後の夏休みとなります。まずは健康で安全な生活を送ること。さらに家事や体力づくりなど、自分に必要な力を付けステップアップすること。毎日一定時間、就労を意識して継続的に課題に取り組むには最適な期間であると思います。この期間が、後期現場実習に向け生徒にとって成長の期間でありますよう、家庭とも協力しながら指導をすすめてまいりたいと思います。

〇保健室

最近の保健室で気になっていることは、朝食の欠食と、睡眠不足です。『スマホを遅くまで使用している⇒寝るのが24時過ぎになる⇒朝起きることができない⇒朝食を食べる時間がない』というのが、多いパターンです。こういった生活を続けていると、かぜを引きやすくなったり、今の時期は熱中症になりやすくなったりしてしまいます。

どのくらい何を食べたら、どのくらい寝たら調子よく過ごせるのか、自分の「ちょうどよい量」を学校にいたる間に見つけてほしいと思っています。ご家庭でも健康面の自立に向けて、お子様の様子を見守っていただければと思います。

〇「横浜市立二つ橋高等特別支援学校Webサイト」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>

学校の様子を随時更新しています。ご覧ください。

